

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	吉田 利信		
居室	西1-516		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yoshida@ice.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p><b>主題</b> 学習や研究の道具としてコンピュータを使いこなす。</p> <p><b>達成目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータシステムやオペレーティングシステムUNIXの基本事項</li> <li>・ 文書の作成などの情報の生成</li> <li>・ ファイルシステムによる情報の蓄積や管理</li> <li>・ ネットワークを用いた情報の発信や受信</li> <li>・ 文書の清書</li> <li>・ ネットワーク社会におけるセキュリティやモラル</li> </ul>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
<p>教科書：渡辺成良・若月光夫・織田健 / 共著 「UNIX コンピュータリテラシー（第2版）」（共立出版）</p>

【授業内容とその進め方】

授業内容

- ・本学ネットワーク利用ポリシー
- ・システム利用の基本事項
- ・文書の編集・日本語入力
- ・電子メール
- ・UNIXの基本事項
- ・ファイルシステム
- ・情報倫理
- ・文書の清書
- ・コンピュータネットワーク
- ・Webページの作成
- ・環境設定

進め方

- ・授業担当教員による概略の説明
- ・実際に操作を行い、確かめながら、自習形式で学習
- ・Webclassを用いて授業開始後と終了前に簡単な復習テストを行う
- ・TAによる学生からの質問に応じた指導

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法

- ・Webclassを用いて授業開始後に確認テストを、終了前に簡単な復習テストを行う。  
このテストを行うことで出席点を与える。
- ・授業には特別な事情がない限り出席すること。
- ・演習課題のレポートはすべて提出すること。
- ・これらの条件を満たした学生について、  
復習テストの出席点とレポート点で50点満点、  
期末試験の結果を50点満点として合計し、  
成績をつける。

評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- ・UNIXの基本コマンドを使用することができる。
- ・漢字仮名混じりの文書の作成、編集ができる。
- ・ファイルシステムを理解している。
- ・電子メールの送受信ができる。
- ・計算機の利用におけるモラル、セキュリティー、  
ネットワーク利用ポリシーの基本事項を理解している。

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話や電子メールなどで事前にアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

- ・UNIX を使った経験のある人はほとんどいないので、コンピュータに初めて触れる人も、気後れすることなく、積極的に学習に取り組んで欲しい。
- ・実際にコンピュータを操作し、体験的に学習をすること。

### 【その他】